

小施策評価シート (平成 27 年度実績評価)

施策コード	13	施策名	スポーツの推進	
小施策コード	13-2	小施策名	スポーツ施設の整備充実	
小施策 主管課等コード	049000	小施策 主管課等名	スポーツ推進課	
評価責任者名	山本 英朝		内線番号	8430
評価シート作成者名	曾根田 雅彦		内線番号	8431

Step 1 小施策の全体像

小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民がスポーツを継続するためには、スポーツ施設を適正に配置するほか、効果的・効率的な運営と施設の充実を図る必要がある。 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催に向けて、施設の整備を進める必要がある。
取組の方向性	市民ニーズに対応した新たな施設の整備や老朽化やユニバーサルデザインに対応する改修など、アセットマネジメントの考え方を踏まえながら、適切なスポーツ施設の配置及び整備・改修を行う。
対象 (誰(何)を対象として行うのか)	市民、スポーツ・レクリエーション施設
意図 (対象をどのようにしたいのか)	場(施設)が提供される。

Step 2 成果指標の推移

(↑: 数値を上げていくことを目標とする指標, ↓: 数値を下げていることを目標とする指標, →: 数値を維持することを目標とする指標)

指標項目		単位	25年度 実績 (現状値)	27年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
A 施設利用者	(↑)	人	861,397	1,080,826	1,060,000	1,210,000
B	()					
C	()					

Step 3 市民ニーズの把握

既存施設の老朽化に伴う修繕要望の声が寄せられていることから修繕、大規模改修、建替えの検討が必要である。

既存施設の移転整備要望が寄せられていることから代替地の確保が必要となっている。

Step4 役割分担分析

1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担 比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	施設の管理運営と整備	30
	国・県・ 他自治体	施設の管理運営と整備	10
	市民・ NPO	施設の利用	50
	企業・ その他	施設の管理運営と整備	10

2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

新たな市民ニーズや国体開催関連施設整備などに取り組んできており，市の公共施設保有最適化・長寿命化計画との整合を図りながら，今後も施設の管理や整備を行うことから現状維持とするもの。

Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

スポーツ施設利用者が増加している。

(2) 成果をあげた要因

「通年型スケートリンク整備事業」により施設が新設されたことにより、冬季スポーツの練習環境、利用環境が整備されたことによる。

(3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

稼働率が比較的低い平日の日中の利用者増に向けて各種スポーツ教室などの事業実施を検討する必要がある。

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

市内のスポーツ施設は老朽化が進んでおり、多くの施設で修繕が必要となっているが、維持管理予算の確保が困難となっている。

(2) 現状の問題点が生じている原因

新たなニーズに対応した施設の建設や国体開催関連施設整備を優先させる必要があったことによる。

(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

スポーツ施設の維持管理費用の財源確保。

3 改革改善案（上記 1 (3) 及び 2 (3) で設定した課題に対する具体の取組）

- ・ 稼働率が低い時間帯に実施する魅力ある自主事業の企画を進める必要がある。
- ・ 施設整備に有利な財源の研究及び大規模大会やイベントの誘致によるスポーツ施設の利用率収入の増加など、スポーツ施設を活用した新たな歳入確保策に取り組む。

Step 6 小施策と構成事業の関係性

1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

2 1で記載した事業についてその理由

3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）